れいひ同金　いたくら同　詞顯輔　みかみの同　拾　しかの同公行　千載　近隆　い
し同　長能　もる同　資業　たかのを同新　匡房　きませの同の山也拾清正娘をば、ひえの山也、我
山ともいふ、　いなばの美の輔抄、松　因幡之由、見清古行平　ふなぎの通同後　後拾　みの、を同ひと新古伊勢つ松
くら井飛也、　いやたかの岑、六位笏木伐之山拾能宣　をばすて信古今月をばすてざりけるさきは、かぶり山といふ也、在後
頼抄、　あさまの同今中作　さらしなの拾同月　貫之　かざこしの同　ふたこ後撰下野
あひつの陸後撰滋幹女　するのまつ同古今興風松山ともこゆる　しのぶ同伊勢物語　かへる前越
古今　兼輔　躬恒　雪　神なび丹波義忠　千載　ちとせ同拾清輔抄在出羽同名所也、　たかた拾石
くめのさら美作　古今　きびの中備中古今備後境まかれふくは、鐵をわかす山也、　たかくら同家經　詞
いやたか同拾兼盛　たかの、同千寂蓮　みくまの、同　新古今　なかたの同爲政　千載　みかみの紀伊拾みにも有
たかくらしの筑紫歟後撰　まちかね攝肥後　詞　あはぢ島淡俊忠　いはや千經衡　いはでの顯千輔　みくら千　俊頼　ひ
ひくの、拾　元輔　かまど拾　はなのを近　拾　まきのを山詞宇治也源氏同にまきの山ともいるさの但　後撰
いへり　まつの讃後拾定頼海近ずるの松山をも松やまとは云り　ちりふの拾　つゝみの　こだかみ金
ら風さえ顯綱よこのてい　いぶき美のさしも草通近江　むらくもの丹波　このはれ清輔抄清少納言　いり
たちの同上　わすれずの陸同上六帖云あふくま河のあなたにや、人わすれずの山は、さかしきと云り、　かたさり同　あさ
くら同　おほひれ同　たまさか清同輔抄　たまつ攝津國之由　いつはた越前也　なかむら長和元
大嘗　たまいつ同　いなふさ同　さゞれいしの同　とみつき同　うりふ山こまのわ
たり也　清輔抄　をときくの尾　はなぞの參　はなそめとも　しづはた駿　をとづれ
上總　うらみの信の　しほたれ美作　わふか紀　をとなし同　かたをか清輔抄名所と
いへり若只かたをか山歟、可尋亭當

たかさごは總て山の名なりともいへり、何不入之、はこやの山は、万葉